

特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

● 延養亭に「見立て」た、交通案内所 兼 待合所

- 交通案内所 兼 待合所は、延養亭に「見立て」たデザインを提案します。
- 延養亭が想起され、広場の人々の目に止まりやすいような、入母屋屋根を切妻と寄棟に分割した屋根デザインとして、人々が気軽に立ち寄りやすい4面ガラスのデザインとします。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



延養亭



交通案内所 兼 待合所の提案イメージ

● 流店に「見立て」た、路面電車乗り場

- 路面電車乗り場は、流店に「見立て」たデザインを提案します。
- プラットフォームにはさまれた軌道部分は、流店の引き込まれた水路の「見立て」としての軌道緑化をすることで、岡山市街への起点を印象付けます。プラットフォーム間の三角形部分には水盤を提案します。
- 路面電車の屋根は、片支柱で支えられた片流れ屋根の組合せとし、流店を想起させるデザインを提案します。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



流店



路面電車乗り場の提案イメージ

● 後楽園内に点在する亭舎に「見立て」た、地下街との連絡階段

- 駅前広場に点在する地下街への連絡階段は、廉池軒や茶祖堂など後楽園内に点在する亭舎に「見立て」ます。
- 連絡階段の屋根の庇をのばし、県産材の石等のベンチを置き、植栽と一体的にデザインすることで、駅前広場に点在する障害物だった連絡階段は、駅前広場に点在する緑と憩いの休憩スペースとなり、人々の「居場所」を生み出します。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



廉池軒



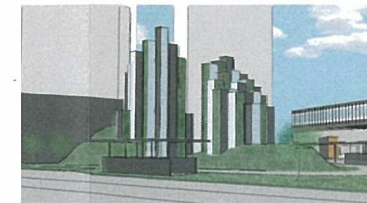
現在の地下街との連絡階段



連絡階段の提案イメージ

● 唯心山に「見立て」た、給排気塔のある「修景ゾーン」

- 特徴的な給排気塔がそびえ立つ修景ゾーンは、唯心山に「見立て」て、築山を整備します。立体的な緑のランドスケープによって既存の空調設備等を隠しながら、駅前広場の新たなビューポイントとなります。
- 給排気塔は、その特徴的な形状を活かして、駅前広場の新たなランドマークとなるようなデザインを提案します。例えば、六角形の各面に「ミラー」「緑」「ダークグレー色」といった素材や色を施すことで、周囲の景色が映り込んで、景観に溶け込み一体化するようなデザインを検討します。
- 夜にはライトアップし、塔の内側からも空へ光をうち、印象的な岡山の夜景を演出することも検討します。
- 「修景ゾーン」は、後楽園内で様々な季節の移ろいを楽しめるように、色とりどりの植栽で立体的に緑化し、四季折々の散策を楽しめるデザインを提案します。



給排気塔のデザイン案



給排気塔の夜景イメージ



唯心山

「修景ゾーン」の提案イメージ



● 岡山城に「見立て」た、駅前広場と一体となった岡山駅のリデザイン

外観デザイン

- 岡山駅の外観は「鳥城」と呼ばれる岡山城に「見立て」て、現状の駅舎の色を風格のあるダークグレー色とすることで、漆黒の下見板張りを想起させる「岡山らしい」洗練されたデザインに生まれ変わらせることを提案します。
- ダークグレーの外観は、かつての岡山駅の外観の記憶を呼び起こすデザインにもなります。

大屋根の新設

- 駅舎に大屋根の新設を提案します。大屋根の下に生まれる軒下広場は、半屋外の縁側のような空間となり、タクシーゾーンから一般車送迎ゾーンまでをつなぐ、にぎわいの交流空間となります。
- 大屋根は、既存の庇を撤去し、東西連絡通路の天井高さに合わせて設置することで、東西連絡通路から岡山市街への風景の見通しが良くなり、軒下広場は駅前広場にふさわしい都市的スケールのパブリック空間となります。
- 大屋根の軒天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



駅前広場と一体となった岡山駅の提案イメージ



岡山城の下見板張り



東西連絡通路からの見通し



大屋根

軒下広場

大屋根の断面イメージ

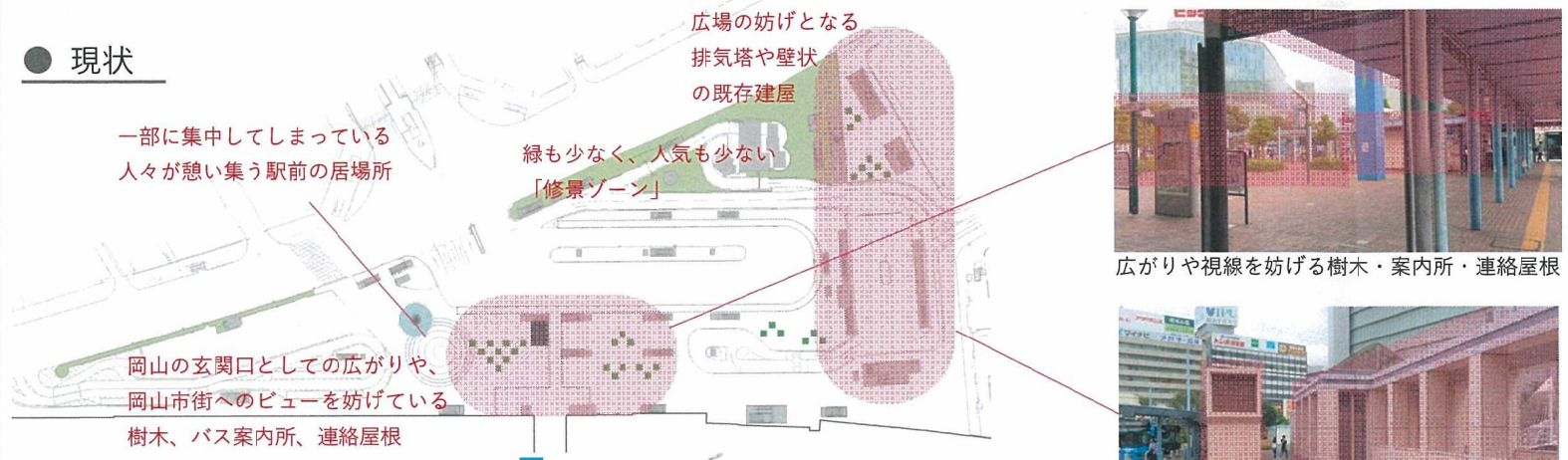
特定テーマ1 に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

3) 岡山市街へのビューとの出会い、《にぎわい拠点》としての広がり、人々の《居場所》を創り出す、既存の制約条件を活かしながら、新しい姿へと新生するデザイン

- ・ 駅前広場にふさわしい広がりや、岡山市街へのビューの妨げとなっている現状の樹木、バス案内所、連絡屋根等をレイアウト変更し、岡山市街へのビューへと開かれた《にぎわい拠点》となる広場空間を生み出します。
- ・ 岡山駅前広場の抱える様々な既存の制約条件を考慮した上で、制約条件（マイナス）を利点（プラス）に転ずることで、駅前広場の記憶を「継承」しながら「新生」させるデザインを提案します。
- ・ 現状では、憩い集う《居場所》が噴水や「吉備沃野」など一部に集中してしまっています。連絡階段や排気塔など「障害物」的存在も上手く活用するデザインで、駅前広場全体に人々の《居場所》を点在させます。

● 現状



広がりや視線を妨げる樹木・案内所・連絡屋根

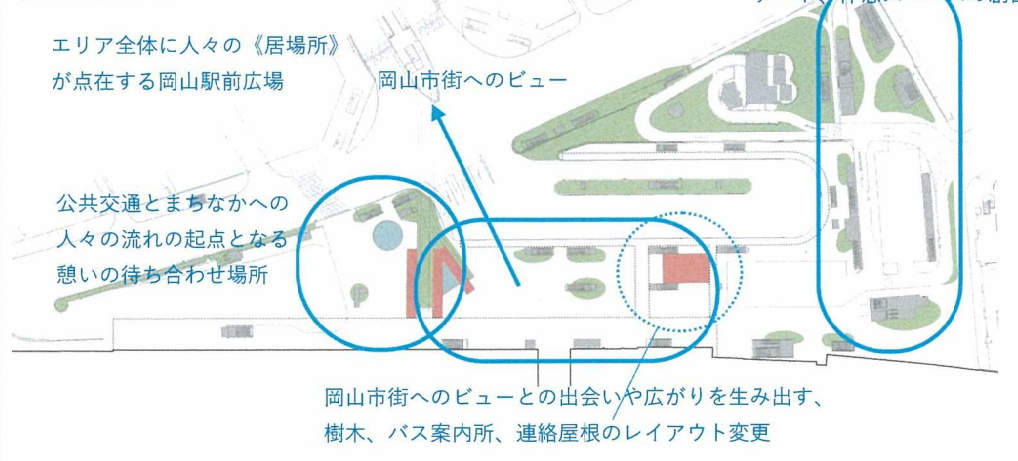


広場の妨げとなる排気塔や壁状の既存建屋



岡山市街へのビューへと開かれた、《にぎわい拠点》としての広がりある「シンボル広場」の提案イメージ

● 提案



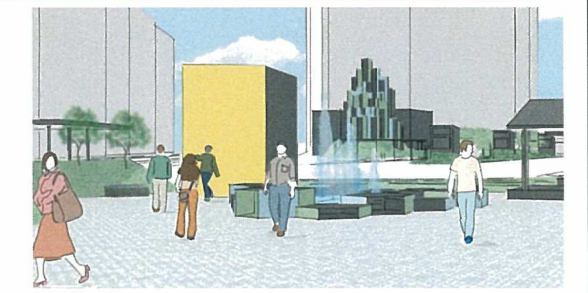
修景ゾーンの巨大建屋の壁面活用の提案イメージ

- ・ 巨大な壁面を活かした、情報発信のサインやパブリックアートへの活用
- ・ 緑とストリートファニチャーによる休憩スペース創出



新たなシンボルとしての噴水のデザイン案

- ・ 例えば、給排気塔と同じ六角形をモチーフとした噴水のデザインの検討。
- ・ 憩いの待ち合わせ場所となり、まちなかへの人の流れの起点となる噴水の提案。



排気塔を活用した「案内サイン」の提案イメージ

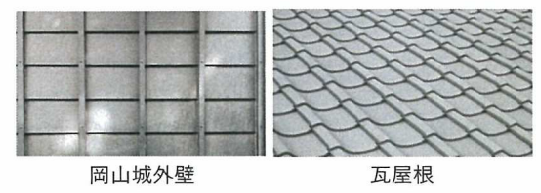
- ・ そそり立って点在する排気塔は、その高さ存在感を活かした「案内サイン」としての活用。
- ・ ダークグレー色を基調とし、サインカラーを用いた洗練されて見やすいデザインの提案。

4) 「岡山らしさ」を感じる《県産材》の自然素材や配色でまとめた統一感のあるデザイン

- ・ 駅前広場は「岡山らしさ」を感じる「色」や、《県産材》の木や石などの自然素材による仕上げとすることで、文化的に洗練された都市空間にふさわしい、利用者にわかりやすい統一感のあるデザインを提案します。

① 岡山城の外壁や、瓦屋根を思わせる、落ち着きと風格が感じられる「ダークグレー色」

- ・ 屋根材の色
- ・ 排気塔や建屋などの基調色
- ・ 岡山駅の壁面



② 「岡山らしさ」と、自然素材のあたたかみが感じられる県産材の「木質仕上げ」

- ・ 軒天上材
- ※ CLTの活用も検討



③ 後樂園や岡山城などの敷石を思わせる、都市的で落ち着いた印象の「ライトグレー色」

- ・ 舗装材



特定テーマ1 に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

● 岡山駅前広場 提案イメージパース



JR岡山駅の大屋根側から見た、岡山市街へのビューへと開かれ、緑の憩いスペースが点在する、にぎわい拠点としての広がりある「シンボル広場」。
岡山駅前広場に点在する「緑と憩いの休憩スペース」は、瀬戸内海に浮かぶ「多島美」(アーキペラゴ)も想起できるようなデザイン提案です。



北側から見た、やわらかな光でライトアップされた駅前広場の夜景。
照明デザインは、市民や来訪者に安全で印象的なあたたかみのある、夜の《にぎわい拠点》に配慮した計画を提案します。



東側から見た、緑あふれる「修景ゾーン」と駅前広場の全景。
「修景ゾーン」は、岡山市街からも緑のランドマークとなり、緑あふれる岡山駅前広場というイメージを与えます。



北側から見た、「シンボル広場」や「交通拠点広場」のにぎわいに溢れる、緑豊かな駅前広場の全景。
岡山駅前広場とJR岡山駅が統一感のあるデザインでまとめられ、一体となった都市のにぎわいを生み出します。